

令和2年2月20日

## 東海村新総合計画（案）に対する意見公募手続結果

東海村新総合計画（案）に対する意見公募手続（パブリックコメント）を実施した結果について、下記のとおり公表します。

### 記

#### 1 施策等の名称

東海村新総合計画（案）

#### 2 意見公募方法

公募実施を広報とうかい（12月25日号）及び村公式ホームページに掲載し、計画案を村公式ホームページに掲載するとともに、以下の村内施設8ヶ所に設置し、閲覧に供した。

- ・企画総務部企画経営課（役場行政棟3階）
- ・各コミュニティセンター（石神・村松・白方・真崎・舟石川・中丸）
- ・村立図書館

#### 3 意見公募期間

令和2年1月6日（月）から令和2年1月31日（金）まで

#### 4 意見提出件数（意見提出者数）

6名（24件）

#### 5 公募意見の内容及び意見に対する村の意見

別紙のとおり

## 東海村新総合計画（案）への提出意見と村の考え方

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
1	<p>プロローグ(p.1)の「この村に関わる全ての人たちの想いが結集し、それらの想いが行動につながったとき、初めて完成する、私たちが目指すのは『村民総参加のまちづくり』』という部分が、東海村総合計画を策定する上で極めて重要である。そのためには、できるだけ多くの村民等の想い（どのような考え、どのような問題を抱えているのか、どのようにすればいいのか、どのような行動ができるのか、どのようにしてほしいのか）や多くの情報（地域の状況及び活動、経済状況、環境状況、安全安心、治安状況等）が必要だ。住民意見を取り込み、一緒に考えていくためには、計画作成の段階から、村民等の意見などをヒヤリングすべき。</p> <p>また、現状認識、目標や課題を村と多くの村民等が共有することが大切。</p>	<p>策定段階では、村民が参画する総合計画審議会や分野別ワーキング委員会において、御意見をいただきながら、策定を進めてきました。また、それを補完する形で、「総合計画策定に係る住民意識調査」や、その他、個別計画策定時に実施したアンケート等での村民意見を確認しております。</p> <p>現状や課題、これからの村のありたい姿・あるべき姿（目標）についても、その中で共有してまいりましたが、今後、さらに多くの村民と共有できるよう努めてまいります。</p>
2	<p>東海村総合計画を策定する上で大切なことは、今までの取組の総括であるため、現在の評価方法の見直し（総合計画の作成に始まり、その評価まで、多くの村民等から生の声を聴くようなシステムの評価方法）が必要である。</p>	<p>取組への評価（施策評価）にあたっては、これまでも外部評価として、総合計画審議会の意見を聴取しているところであり、今後も継続してまいります。また、その結果については公式ホームページ等で公開するなど、多くの村民からの御意見を聴取できるような取組を検討いたします。</p>
3	<p>SDGsの実践に向けた計画はPDCAが回しやすく、確かな目標として、村民に分かりやすく進捗を可視化して示せるといった。</p>	<p>SDGsへの紐づけを利用し、施策の進捗状況を可視化しながら、事務事業に取り組んでまいります。</p>
4	<p>『いきいき茨城ゆめ国体2019』の成功と『とうかい国体盛り上げ隊』を核とした、国体の機運醸成とおもてなしの取組による本村の魅力向上」(p.18)とあるが、国体は成功裡に終えた過去の事案なので、この施策は相応しくない。</p>	<p>「村のこれまでの取組と課題」については、第5次総合計画において、どのような取組を実施したかを記載する項となります。複数ページに渡るため、見出しを付けるなど、分かりやすい表示に努めます。</p>
5	<p>計画体系は小学生でも、見て分かりやすい表現になっていることが嬉しい。木や花など自然の中で調和し人としての在り様が示唆されている。</p>	<p>これからのまちづくりには、次世代を担う若年層への働きかけが重要であることから、さらに「若年層が見て分かりやすい計画」を心がけて、策定を進めてまいります。</p>
6	<p>変わっていくものがあるなかで、「時を守る」「場を浄める」「礼をつくす」など、変わってはならないものがあり、これがプロローグや将来ビジョンの中に見え隠れしている。いろいろな機会、場を通して、より多くの村民一人一人にこの想いが伝わると良いと思う。</p>	<p>社会の状況が急激に変わっていくなかで、「人」と、その「つながり」を大切にしたい、という考えを核にして策定しています。これを一人でも多くの村民と共有できるように、取組を進めてまいります。</p>

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
7	第3項「少子高齢化の進展」(p.11)では、「平成20(2008)年を人口の減少局面に入っており」とあるが、グラフ(東海村の出生者数及び死亡者数)を見ると、平成22年から出生者数が減っており、グラフが示すものと文章が合っていないのではないか。	御指摘の部分については、日本全体の人口減少について記載しており、村の出生者数と死亡者数を表すグラフとは合致しないため、読み手に分かりやすく表記するよう修正いたします。
8	全般的に横文字多用の感があるため、村民が理解しやすいような言葉や文章構成にしてほしい。	分かりにくい言葉には注釈を入れ、理解しやすい文章構成にするなど、全村民に分かりやすい計画の策定を心掛けます。
9	「計画策定の趣旨」(p.2)で、最初に人口減少対応が重要課題と言っているが、次のパラグラフでは「村民の多様な力を発揮することが重要」と言っている。唐突的な文脈構成で、もう少し丁寧に文脈の関係性を説明すると、読者は理解しやすいのではないか。	文脈の関係性を丁寧に説明し、読者に分かりやすい文章構成に修正いたします。
10	「SDGsの推進」(p.2)は、(第5次総合計画では出てこないワードであるため)キーワードとするのであれば、もう少し丁寧な説明がないと読者は理解しにくいのではないか。	SDGsについては、「村を取り巻く状況」(p.12)に概要を記載しているところですが、読者に分かりやすい表記に努めてまいります。
11	5年間で取り組む事項を「計画体系」で示していると言っているが、第2章の関係図のことか。	p.23の木でイメージした計画体系を示しています。章タイトルが「計画体系図」となっていたため、「計画体系」と修正いたします。
12	見直しは、「毎年度修正や補完などを行い、変化する社会情勢等に弾力的に対応する(ローリング方式)やり方で見直しをする」と表現したほうが、読者に分かりやすいのではないか。	御意見を参考に、読者に分かりやすく修正いたします。
13	「人財」という当て字について、どういう意味を持たせて「人財」を使っているのか、一言説明があると、後の文章を読む上で理解されるのではないか。	「人財」にどのような意味を持たせているか、初めてワードとして出てくる箇所(将来ビジョン(p.7))に注釈を入れます。
14	「村が秘める可能性」(p.8)に「人財」という言葉がでてくるが、人財の意味は「村の財産」「村にとって有益な村民」ということか。少し説明があると分かりやすいと思う。	「人財」には、財=財宝、「村にとってかけがえのない宝」という意味を持たせているため、そのように注釈を入れます。
15	村では、従来から福祉と教育に力をいれてきたと言っているが、高齢者問題を含めた福祉についても言及したほうが良いのではないか。人口減少と高齢化問題は将来ビジョンとしても忘れてはならない重要課題である。	高齢者福祉についても、村民活動のなかで、さまざまな活動を行っていただいているため、そういった部分に関しても、「村が秘める可能性」で言及してまいります。

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
1 6	<p>第3項にSDGsとSociety5.0の項目(p.12・p.13)に唐突感がある。また8つの優先課題についても唐突な感がある。SDGsとSociety5.0は別に項を起し、第5次総合計画までに取り入れてきた理念と開発目標との関係など丁寧な解説があると解りやすい。</p> <p>8つの優先課題についても、2030アジェンダの5つのPで分類し、概説を入れると、後ろの取組などの項と関連付けができ、理解しやすいのではないかと。</p>	<p>第3項は、現在、村の周り(国・世界)がどのような状況にあるかを説明する項となっており、SDGsやSociety5.0はその重要な要素となっています。本計画では、SDGsやSociety5.0の推進を、本村の「持続可能なまちづくり」に活用するものであり、SDGsの目標達成、Society5.0の実現が主目的ではないことから、個別の項立て等による説明はしない考えです。</p> <p>8つの優先課題については、p.12において説明を入れておりますが、貢が変わり、分かりにくいため、分かりやすく修正いたします。</p>
1 7	<p>第3項Society5.0の推進(p.13)の文章は、国の文章と同じであるため、村の現状を示し、「将来この点を強化する」あるいは「改革していくと、このような姿になる」という記載の方が読み手には分かりやすい。</p>	<p>Society5.0の活用に関しては、「計画を推進するための基本姿勢」(p.32)に記載しているため、それが分かるような表記に努めます。</p>
1 8	<p>第5次総合計画における成果と課題(p.15)については、全てタイトルの成果ではなく、取組状況の記載ではないかと。また、Data囲み記事が本文とどのように関わっているのかが分からないので、無い方がよいのではないかと。</p>	<p>第5次総合計画においては、「取組を達成することで施策の成果とする」という考え方であるため、全て取組状況を記載していますが、語弊があるため、タイトルを「取組と課題」と修正いたします。またData欄については、取組状況を数値で表す資料であるため、本文(主な取組)との関わりが分かりやすい表記に努めます。</p>
1 9	<p>計画体系図(p.28)の中で、施策の欄の後にSDGsの17目標が示されているが、施策とどのように関連付けられているのか、あるいは政策に対してどう位置付けているのか、何も説明がなく、唐突の感があり、理解できない。</p>	<p>SDGsの関連付けについて、「計画の構成と期間」(p.3)に記載し、分かりやすい表記に努めます。</p>
2 0	<p>5つの基本姿勢は、これからの東海村の未来と発展を考える上で、大変重要である。</p>	<p>基本姿勢は、計画を推進する上で必要な項目を挙げているため、毎年策定する実施計画においても「視点」として位置づけてまいります。</p>
2 1	<p>このような長期にわたる施策の場合、それぞれの施策をどのように可視化し、取組を実施するかが重要だと思う。村民のための総合計画であり、村民がいての成果だと思うので、よく検討していただきたい。</p>	<p>施策に対して、どのような事業を実施するかを実施計画において明らかにし、毎年度、取組に対する評価を実施いたします。また、評価結果については、村公式ホームページ等において公表してまいります。</p>

番号	意見の要旨	意見に対する村の考え方
2 2	<p>「いろいろな存在を大切にしながら、それらをつなげることで、未来をにやう子どもたちの将来を守って行こう」という考えには共感できた。いろいろな地域で子ども会が消滅しており、保護者が忙しくて、子ども会活動に携わる時間が取れないのも無理のないことだが、いろいろな世代や分野の人が子ども会に関わることで、「みんなで子どもの成長をサポートする」という気持ちが村民の中に広がるとよいと思う。</p>	<p>持続可能なまちづくりを進めていくためには、「子どもの将来を守るためにどうするか」という考えを常に持ちながら、施策を展開していくことが重要と考えています。今後、取組を進めていくにあたって、多くの村民が「子どもの成長をサポートしたい」と思える気風づくりを意識しながら、施策を展開してまいります。</p>
2 3	<p>役場の若い職員の皆さんは、PTAの役員をやってくださったり、地域の行事に積極的に関わったり、昔と違って地域に関わろうという意識が高まっていて、ありがたく思う。「人づくり」には、当然、役場の皆さんも入ると思うので、より多くの職員の方が、地域活動やボランティア活動に参加してくれるとよいと思う。</p>	<p>「真に村民が主体となったまちづくり」の実現に向けては、より一層、村職員が村民に寄り添い、向き合いながら施策を展開していくことが重要と考えていることから、「人づくり」には村職員の育成も含めております。職員の育成に関しては、『新しい「役場」への転換』として、村職員の意識改革と意欲的に業務に取り組むことのできる環境整備に取り組んでまいります。</p>
2 4	<p>プロローグが村民への呼びかけの形になっている。これを、どれだけの人が、「自分への呼びかけだ」と思うかが大事。その意味では、計画が完成したら、いろいろな人に分かりやすく説明してその気にさせることが大事なのではないか。</p>	<p>「真に村民が主体となったまちづくり」実現のため、まずは多くの村民に共感してもらい、「まちづくり」のために行動してもらうことが重要であるため、一人でも多くの村民とこの計画を共有するための機会を設けてまいります。</p>